



五十沢小学校だより

いのち かがやく

No.3

令和7年6月30日



【子どもの笑顔】を支える【保護者、地域の笑顔】と【教職員の笑顔】

「八海健康 week」がんばっています

～家庭学習時間が課題です～

6月23日(月)～29日(日)に八海中学校区で取り組んでいる「八海健康 week」を五十沢小学校の子どもたちも、がんばりました。「早寝」「朝ご飯を食べる」「メディア時間のルールを守る」「学年×10分の家庭学習時間」について、この期間、家庭で実践し、カードに記して学校で集計しました。五十沢小学校では、集計結果を学年ごとにグラフにし、毎日、その結果を放送でお知らせしました。



今年は、特に家庭学習時間の確保について、保護者にお申し、協力していただきました。「学年×10分」学習している児童、それを超える時間、取り組んでいる児童をグラフにしています。また、ICTの技能としてキーボードを使ったローマ字入力に慣れるために、その練習も家庭学習時間としました。ほとんどの子どもが目標を達成しているようです。

まずは、家で学習に向かうことが当たり前になることを目指します。今後は、学習内容についても指導し、学校での授業と家庭学習が両輪となって、力をつけていくことができるよう願っています。

メディアは悪なのかな ～講演会「凸凹支援、メディア支援」～

メディア視聴時間の長さによる影響、内容の是非、ルールの守らせ方など、保護者から、昨年度の学校評価自由記述で困った様子や不安の声が多く寄せられていました。今回の「八海健康 week」の目標設定欄でもこれまでに加えて、「目標を達成するための方策」を一人一人考えてもらいました。

また、6月27日(金)に行われた「五十沢地区民生委員・児童委員協議会」でも、乳幼児、保育園児からメディアに触れていること、保護者の立場としても子育ての大変さからメディアに頼らざるを得ない現状があること、大人もコントロールできていないこと、等々話題になりました。

メディアの電磁波の悪影響と、「考える力を奪われる」という、脳にダメージを与えている良くない事実をご存じのことと思います。しかし、今の世の中、切っても切り離せないものであることは間違いありません。

私たち大人は、どうやって子どもの脳を守ったら良いのでしょうか。その一助となるかもしれない講演があります。8月8日(金)コミュニティホールさわらび 市民病院発達外来医師 和田有子様「～凸凹支援、メディア支援～発達凸凹の見方」 申込は、南魚沼市立総合支援学校に7月30日までです。保護者の皆様には、「安心でんしょばと」の配信で6/26にお知らせしました。

だれしもが話を聞いてほしい。 そして、話すことは良い脳を作る。



様々な問題やお子さんについての心配事があると、どうしてよいか分からなくなるものです。また、つい、決めつけてしまったり時間に追われて「早く早く」と急かしたりしてしまいがちです。大人も精一杯ですから。

しかし、思いのほか簡単なことで問題が解決し、その上、大人の心も満たすことができる方策があるのです。それは「聞くこと」です。5月22日「令和7年度 深めよう絆にいがた県民会議 第一回総会」後に、早稲田大学客員教授の伊佐貢一様が講演された言葉の中にヒントがあります。

「こどもの話を真剣に聴くこと、最後まで聴こうと（大人が自分に）言い聞かせて聴くこと」

- ①こどもの話を最後まで聴く ②話題を変えない、話題を取らない
- ③話の途中で道徳的、倫理的判断を口にしない ④こどもの感情を否定しない
- ⑤時間の圧力をかけない 他 （「新潟県いじめ対策ポータルサイト」より）

子どもは、自分で自分のことや思いついたことを話したいものです。でも、うまく話せるわけではありません。大人は忙しくてつい、後回しにしてしまいます。でも、上記のことを実践してみてください。きっと、問題やモヤモヤの解決だけでなく、子どもの心や考える力、伝える力、良い脳を大きく育てることが出来ます。

子どもは、見たこと聞いたこと経験したことをたくさん心と頭に入れてきます。それを整理し直し、自分の言葉に紡ぎ直し、自分の考えを織り交ぜて「話す」のです。そのときの脳の働きはフル回転。「考える力」がつくのです。ですから、話すことが直接学びに直結しています。さらに、子どもは、聞いてもらった安心感と、自分で考えた満足感や喜びから、「もっとよい自分になりたい」と思うようになります。大人が心配していたことを子ども自身が解決していくのです。おまけに、聞いている大人は、「こんなことを考えられるようになったのか」「こんな風に思っているのか」と子どもの成長やよさに気づき、心が満たされます。大人も「よかった」と思えるのです。

毎日とは言いませんが、時々、「こどもの話を真剣に聴くこと、最後まで聴こうと（大人が自分に）言い聞かせて聴く」ことを是非やってみてください。

大人だって聞いてほしい。そんなときは…

大人も子どもも職員も、どうしてもうまくいかないことがあったり、分かってほしいのに伝わらないことがあったりするものです。毎日精一杯がんばっているからなのでしょうね。疲れてしまったり考えが堂々巡りになってしまったり、モヤモヤがおさまらなかつたりすることは誰しもあります。

そんなときは、学校に来てお話を聞く専門家スクールカウンセラーに聞いてもらいませんか。子どもでも大人でもよいのです。今年度も「星 麻衣」カウンセラーがお話を聞きます。ぜひお申し出ください。

南魚沼市子ども家庭サポートセンターより

令和2年4月から「児童福祉法」が改正され、子どもへの体罰が法律で禁止されています。お子さんに不自然なあざや傷を見つけた場合、学校には児童相談所や市役所へ報告する義務があるため、保護者の方に様子をお聞きすることがあります。ご理解いただけますようお願いいたします。

私たち五十沢小学校職員も市同様、子どもたちの健やかな成長を願っておりますので、お困りごとがありましたら、気軽にご相談ください。